

各 位

「清流の国ぎふ」文化祭2024
実行委員会事務局長

「清流の国ぎふ」文化祭2024 文化的処方プログラム・シンポジウムのご案内について

当実行委員会では、全国に先駆け、文化芸術の力で「健康」や「くらしやすさ」等をも高める「文化的処方」に取り組んでおり、このたび「文化的処方プログラム・シンポジウム」を下記のとおり開催します。

本シンポジウムでは、文化や芸術を通じて地域社会の健康とウェルビーイングを向上させるための方法や事例を共有します。別紙「福祉施設にとっての文化的処方の効用」のとおり福祉施設の皆様にとって大変参考となる内容となっておりますので、ご案内します。

ご出席される場合は、別紙「出席連絡票」を10月11日（金）までにご提出ください。

記

- 1 日 時 令和6年10月16日（水） 14:30～17:00（予定）
- 2 会 場 岐阜県庁舎 1階 ミナモホール（岐阜市藪田南2-1-1）
- 3 主な内容 パネルディスカッション「文化的処方先進の地～岐阜のこれまで・これから」
ファシリテーター：
日比野 克彦氏（東京藝術大学学長、「清流の国ぎふ」文化祭2024総合プロデューサー）
パネリスト：
伊藤 達矢氏（東京藝術大学社会連携センター教授）
塩入 俊樹氏（岐阜大学大学院教授）
水野 友有氏（中部学院大学人間福祉学部准教授、東京藝術大学地域コーディネーター）
- 4 回答先 「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会事務局
（清流の国ぎふ文化祭推進課内）
- 5 その他
 - ・当日は岐阜県庁1階ホワイエにて体験型メディアアート作品「Bubbles」など、東京藝術大学や企業が開発した文化的処方テクノロジーを体験できる「関連装置展示コーナー」を設けておりますので、お立ち寄りください。
 - ・ご出席の方には、後日「入場券」をメール又はFAXでお送りします。
 - ・イベントの詳細はチラシをご覧ください。
 - ・ご家族ご友人も参加できます。

「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会事務局 （岐阜県 文化祭推進事務局 清流の国ぎふ文化祭推進課）			
担 当	事業推進係 松原		
所 在 地	〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1		
電話番号	058-272-1971	F A X	058-278-2551

文化的処方プログラムについて

▶文化的処方

「文化的処方」とは、「社会的処方」を援用したもの。健康といったところに医学的な療法で治療を求めるように、同じように文化芸術を用いることでウェルビーイングを求めるもの。

※「社会的処方」とは身体的健康のみならず、精神的及び社会的に健康であることのために、薬ではなく、社会との繋がりを専門人材であるリンクワーカーが医療機関等と連携し必要とする者に処方する仕組みで、主にイギリスなどで行われている。

▶文化的処方プログラム

文化的処方を実践する文化リンクワーカーを育成し、「清流の国ぎふ」文化祭2024の期間中に文化祭会場を活用した文化的処方を実施するプログラム。

福祉施設にとっての文化的処方 の 効用

1 福祉施設共通

文化的処方は、アートや文化活動を通じて、利用者の心身の健康を向上させる以下のような効果が期待できます。

(1) 心の健康の向上

- ・アートや音楽、演劇などの文化活動は、ストレスを軽減し、心の安定をもたらします。

(2) 社会的つながりの強化

- ・文化活動を通じて、利用者同士や地域社会との交流が促進され、孤立感が軽減されます。

(3) 創造性と自己表現の促進

- ・文化活動は、利用者の創造性を引き出し、自己表現の場を提供します。

(4) 家族との絆の強化

- ・家族も一緒に参加できる文化活動を通じて、家族間の絆が深まり、支援の質が向上します。

2 障がい者就労施設

(1) 職業スキルの向上

- ・アート活動を通じて、利用者の創造性や手先の器用さが向上し、職業スキルの向上に寄与します。

(2) 自己肯定感の向上

- ・創作活動を通じて、利用者が自己表現を行い、自己肯定感の向上が期待できます。

(3) 社会的スキルの向上

- ・グループでの活動を通じて、利用者同士のコミュニケーションが促進され、社会的スキルが向上します。

これらにより、障がい者がより良い職業生活を送るためのサポートとなります。